

11/15 第32回ふくしま駅伝
●郡山市～福島市

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、郡山市から福島県庁前まで9区間50.2kmのコースに変更され、県内の市町村50チームが襷をつなぎました。本番に備えて練習を重ねてきた白河市チームは、2時間46分44秒のタイムで、総合第19位（市の部第9位）の成績を収めました。



11/1～3 白河まちなか音楽3 Days2020
●コミネス大ホール ほか

ハリストス正教会（愛宕町）でジャズ、常宣寺（向新蔵）では邦楽が演奏されたほか、ハナミズキ室内合奏団の皆さんは、藤屋蔵（二番町）や、旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷（本町）などでクラシックの名曲を演奏しました。観客は、さまざまなパフォーマンスをまちなかで身近に鑑賞しました。



10/31 福島県に「エール」をお届けトークショー in白河
●翠楽苑

NHK連続テレビ小説『エール』に出演した中村蒼さん・井上希美さんが、お互いの印象や、福島方言は覚えるのが大変だったことなど撮影中のエピソードを語りました。トークショーの前には、井上さんが古関裕而氏作曲の『栄冠は君に輝く』など歌声を披露しました。



10/24～25 星降る映画館ドライブインシアター
●コミネス駐車場

2日間で『劇場版ムーミン谷の彗星 パペット・アニメーション』『アメリ』『ソング・オブ・ザ・シー 海のうた』『ゾンビ』の4作品が上映されました。会場では飲食販売も行われ、自家用車で訪れた観客は、ソーシャルディスタンスを保ちながら映画鑑賞を楽しみました。



11/8 第26回中山義秀文学賞公開選考会
●新白信ビルイベントホール（立石）

選考委員である作家の中村彰彦氏・山本一力氏・澤田瞳子氏、文芸評論家の清原康正氏が、平成31/令和元年度に刊行され、日本の歴史を題材とした文学作品の中から最終候補に残った3作品を公開で講評しました。選考の結果、美濃の武将齋藤道三などの国盗りを描いた『まむし三代記』（著者 木下昌輝さん）が受賞作品に決定されました。



11/7 第24回しらかわ音楽の祭典 第1部「市民音楽祭」
●コミネス大ホール

市内の小・中学校、高校、一般団体の23団体が合唱や合奏などを披露し、音楽のすばらしさを市民と共有しました。また、特別プログラムとして、6月に発足した（仮称）白河市民オーケストラがチャイコフスキーの交響曲第5番を演奏し、来場者に感動を与えました。



10/28 三者協定調印式
●本庁舎第二応接室

市は、農業法人(株)サラダボウル、双石地権者組合と同協定を締結しました。この協定は、双石地区にある約6ヘクタールの水田に、国内最大級のトマトのハウス栽培施設を整備するものです。施設には、最先端の技術を駆使した環境制御システムなどを導入し、地元を中心に新規雇用する方針で、令和5年の操業を目指しています。



▲（左から）田中進代表取締役、鈴木市長、相笠秋夫氏

10/20 災害時における生活物資の供給協力に関する協定締結式
●本庁舎第二応接室

市は、(株)ヨークベニマルと同協定を締結しました。この協定は、災害発生時、日用品などの生活必需品の支援を受けることが必要になった場合、同社に協力を要請するものです。市では、公設地方卸売市場や(株)カインズなど、民間企業5社と生活用品等の供給に関する協定を締結しています。



▲（左から）鈴木市長、真船幸夫代表取締役社長